

道CLASS指定校の帯広三条高

5年度から類型別探究

2年生対象 進路の先考える

【帯広発】道教委による道CLASSプロジェクトの指定校・帯広三条高校（合浦英則校長）は、来年度から2年生を対象に類型別探究活動を進める。教育や医療、国際理解など、在校生・卒業生の進路をもとに6類型で構成。現場の今日的な課題解決・負担軽減に向けた探究活動など、希望進路の先を考える授業展開を想定している。

同校は「生徒の進路希望に沿った探究的な学び、ならびに都市型の地域協働探究活動のプログラム構築」を研究テーマにプロジェクトを推進している。本年度の1年生から、総合的な探究の時間における新カリに沿った類型別探究活動を

キニムを導入。1年間の展開する。在校生や卒業生の進路をもとに①アート・表現②地域課題解決③教育・スポーツ④サイエンス&テクノロジー⑤看護・医療&地域支援⑥国際理解・人権の6類型を用意。帯広畜産大学や帯広美術館、

JICAなど、各分野に精通しているコンソーシアムメンバーの協力を得て実施する予定。

うち教育・スポーツ、看護・医療&地域支援では、現場の今日的課題を見つけて、負担軽減に向けた解決策を高校生の視点で考える授業展開を想定。また、サ

イエンス&テクノロジーは帯広畜産大に協力を要請し、今後の高大連携の在り方を検討していく。

合浦校長は「生徒が将来、自主性を持って活動できるよう、探究活動を通して意識付けを図りたい」と話している。